

# 福井県の淡水魚類

## 5. シラウオ科魚類ほか

加藤文男\*

### A シラウオ科 (Salangidae)

#### (1) シラウオ *Salangichthys microdon* Bleeker

a 形態的特徴 背鰭は腹鰭より著しく後方に始まる。前上顎骨の前方に拡大部がない。主上顎骨は眼の前縁より後方に達する。頭部はわずかに縱扁し、口蓋骨は各側1列で(各側4~8)，舌歯がない。背鰭11~15軟条，臀鰭18~23軟条，下顎歯18~22，体長79~84.2mm，三方湖で獲れた3尾による(表1，図2A)。

b 分布 日本沿岸に最も普通に分布、太平洋側では北海道網走湖以南、岡山県まで、日本海側では樺太、北海道、本州、九州西部、ウラジオストックから釜山まで分布する(中村, 1975)。福井県では、北潟湖(五十嵐, 1970)，三方湖(五十嵐・加藤, 1970)で確認され(図1A)，汽水域から純淡水域までの湖沼に分布する。

### B キュウリウオ科 (Osmeridae)

#### (2) ワカサギ *Hypomesus transpacificus nipponensis* McAllister

a 形態的特徴 口は小さく、上顎骨の後端はほぼ瞳孔の中心下に達する。腹鰭は背鰭基部の直下から始まる。吻長は両眼間隔よりも長い。縦列鱗数は55~59，側線は不完全で前方の鱗にのみ存在する。体長86.2~105mm，三方湖で獲れた3尾による(表1，図2B)。

b 分布 本州(太平洋側は千葉県以北、日本海側は島根県以北)と北海道に分布するが、国内全土の湖沼や人工池に移植され繁殖している(中村, 1975)。福井県では、北潟湖(五十嵐, 1970)，三方湖(五十嵐・加藤, 1970)で確認され(図1A)，汽水域から純淡水域の湖沼に分布する。

### C コノシロ科 (Dorosomatidae)

#### (3) コノシロ *Clupanodon punctatus* (T. et S.)

a 形態的特徴 背鰭の最後の鰭条が糸状に伸びている。上顎の後端は瞳孔の中心よりやや前方に達し、口には歯がない。喉部と腹面に鋭い稜鱗列がある。肩部に黒斑がある。体長235mm，久々子湖で獲れた1尾による(表1，図2C)。

b 分布 本州(太平洋側では松島湾以南、日本海側では十三湖以南)，四国、九州、朝鮮、アジア大陸東部沿岸、印度、ポリネシアなどに分布する(中村, 1975)。福井県では、久々

\* 福井県立足羽高等学校

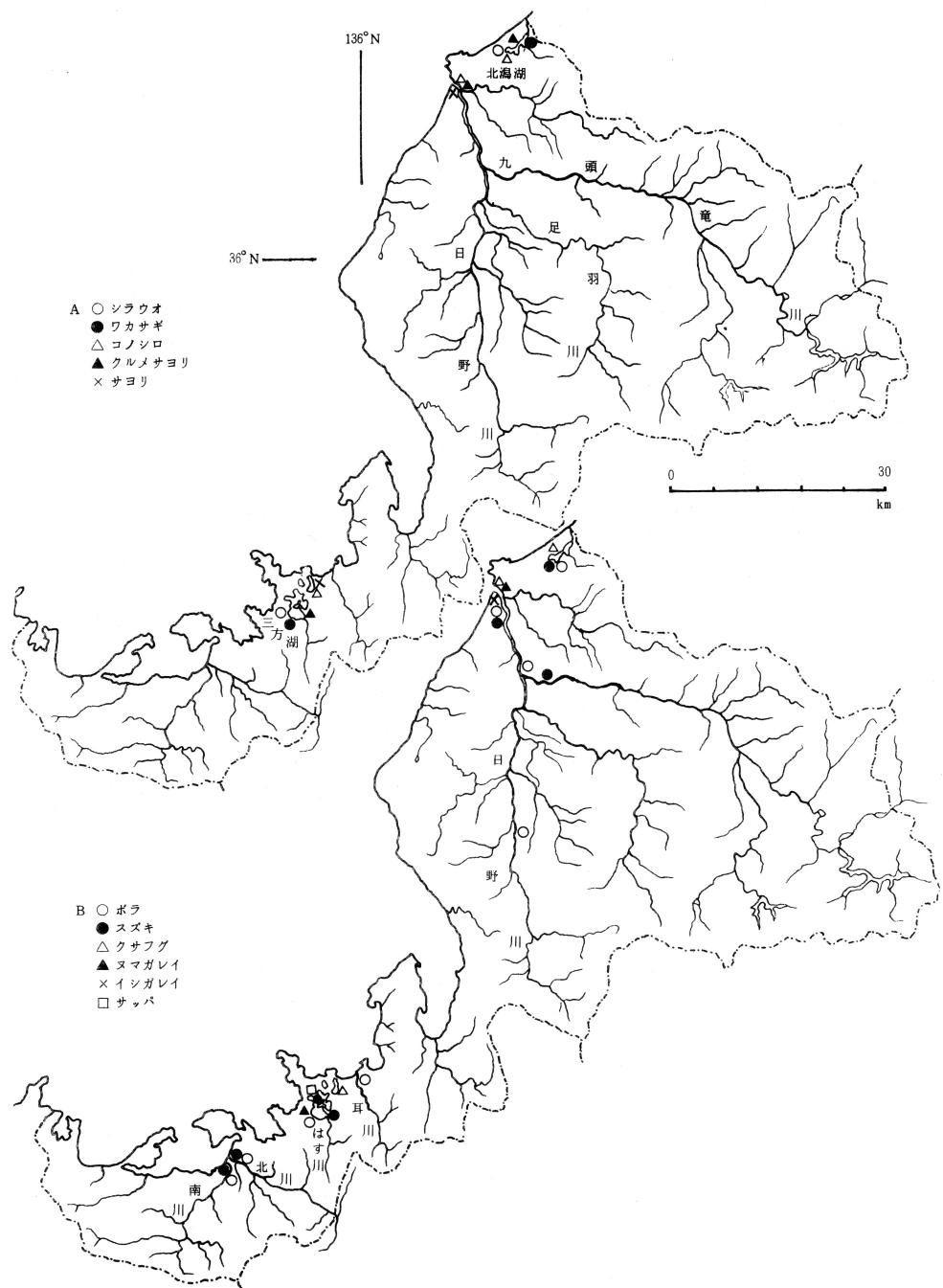


図1 福井県の淡水魚類11種の分布

表1 魚の計測値

魚種	シラウオ	ワカサギ	コノシロ	クルメサヨリ	サヨリ
標本数	3	3	1	2	1
全長 (mm)	89~92.3	102~121		135~162	274
標準体長 (mm)	79~84.2	86.2~105	235	117~143	240
体長 / 頭長	6.14~6.50	3.99~4.88	3.70	4.69~4.72	4.71
体長 / 体高	7.65~8.60	6.09~6.56	3.36	10.17~10.21	10.43
頭長 / 吻長	3.02~3.32	3.87~4.22	4.47	2.53~2.61	2.37
頭長 / 眼径	5.48~6.35	3.71~3.96	5.67	4.51~4.92	5.10
頭長 / 眼間距離	4.54~4.57	4.29~4.64	4.32	4.68~4.92	4.43
背鰭条数	11	8~9	15	14~16	16
臀鰭条数	18~23	14~16	22	17	15
胸鰭条数		12~14	13	10~11	11
腹鰭条数		8	7	6	6
側線鱗数		55~59	51	93~95	120
横列鱗数		16~19	22	13	14
鰓耙数		33~37		30~31	33
採集地	三方湖	三方湖	久々子湖	三方湖	久々子湖
採集日	1965.3.25	1965.4.28	1959.10.10	1965.11.4	1965.7.20

魚種	ボラ	スズキ	クサフグ	ヌマガレイ	サバ
標本数	2	4	1	2	1
全長 (mm)	186~205	140~265	99.5	206~222	155.5
標準体長 (mm)	157~175	117~223	79.5	170~182	126.0
体長 / 頭長	3.68~4.30	3.08~3.38	9.35	3.43~3.54	4.06
体長 / 体高	4.91~5.07	3.67~3.98	2.48	1.84~1.97	3.23
頭長 / 吻長	4.45~4.75	3.38~3.80		5.85~6.09	4.13
頭長 / 眼径	5.07~5.94	4.13~5.00	1.21	5.30~5.33	3.37
頭長 / 眼間距離	2.21~2.64	4.13~4.82		16.0~16.6	3.88
背鰭条数	{ D <sub>1</sub> , N D <sub>2</sub> , I-8 III·9	{ D <sub>1</sub> , XII D <sub>2</sub> , I·13~14 III·8~9	11	54~60	16
臀鰭条数			10	40~43	19
胸鰭条数	14~15	14~16	14	10~11	14
腹鰭条数	I·5	I·5		6	8
側線鱗数	39~40	81~87		87~94	43
横列鱗数	14~15	14~15/17~18			
鰓耙数		23~26		12~13	12
採集地	日野川(鮪江) 1968.9.7 三方湖	水月湖 1966.1.19 三方湖	久々子湖	水月湖	水月湖
採集日	1959.8.20	1965.7.8	1965.7.20	1966.1.9	1966.1.10

子湖（五十嵐・加藤，1970），北潟湖（五十嵐，1970），九頭竜川（五十嵐・加藤，1966）に分布する（図1A）。沿岸性の魚で、10月から5月に汽水域に浸入する。

#### D サヨリ科 (Hemiramphidae)

##### (4) クルメサヨリ *Hemiramphus kurumeus* (T. et S.)

a 形態的特徴 下顎は長い1本の嘴となって前方に突出し、その前端下面は黒色である。体長117～143mm，三方湖で獲れた2尾による（表1，図2D）。

b 分 布 本州（太平洋側は青森県小川原沼以南、日本海側は青森県十三湖以南），九州（有明海側），朝鮮（南および西側），揚子江下流などに分布する（中村，1975）。福井県では三方湖（五十嵐・加藤，1970），北潟湖（五十嵐，1970），九頭竜川（五十嵐・加藤，1966）で確認されている（図1A）。汽水性の魚で5～10月には純淡水域へも浸入する。

##### (5) サヨリ *Hemiramphus sajori* (T. et S.)

a 形態的特徴 下顎は長い1本の嘴となって前方に突出し、その前端下面は朱赤色を呈する。体長240mm，久々子湖で獲れた1尾による（表1，図2E）。

b 分 布 北海道，本州，四国，九州，朝鮮，アジア大陸東部沿岸，台湾などに広く分布する（中村，1975）。福井県では、久々子湖（五十嵐・加藤，1970），九頭竜川（五十嵐・加藤，1966）に分布する（図1A）。沿岸性の海魚で、汽水域へも浸入する。

#### E ポラ科 (Mugilidae)

##### (6) ポラ *Mugil cephalus* Linne

a 形態的特徴 第1背鰭は4棘，第2背鰭は1棘8軟条，眼に脂瞼が発達する。体長157～175mm，三方湖，日野川（鯖江）で獲れた2尾による（表1，図2F）。

b 分 布 世界各地の熱帯から温帯にかけて分布し、日本ではほぼ全土の沿岸にすむが、東北，北海道には少ない。福井県では九頭竜川水系，耳川，北川，南川，北潟湖，三方湖などに広く分布する（図1B）。沿海魚であるが、汽水域から純淡水域まで浸入する。幼魚期にはよく川を溯る。

#### F スズキ科 (Serranidae)

##### (7) スズキ *Lateolabrax japonicus* (Cuvier)

a 形態的特徴 背鰭は2基（第1背鰭は12棘，第2背鰭は1棘13～14軟条），鱗数81～87，14～15 / 17～18，下顎の下面に鱗はない。腹面は白色である（表1，図2G）。

b 分 布 日本のはば全土，朝鮮，台湾および支那の沿岸に広く分布する（中村，1975）。福井県では九頭竜川，北川，南川，北潟湖，三方湖に分布する（図1B）。5～10月に川を溯上し、汽水域、純淡水域へも侵入する。

## G フグ科 ( Tetraodontidae )

(8) クサフグ *Fugu niphobles* ( J . et . S . )

a 形態的特徴 腹鰭がなく、胸鰭の上後方と背鰭基部に大型の黒斑がある。体長 79.5mm, 久々子湖で獲れた1尾による(表1, 図2H)。

b 分 布 本州以南、沖縄に至るまでのほぼ日本全土沿岸と釜山付近に分布する(中村, 1975)。福井県では北潟湖(五十嵐, 1970), 久々子湖(五十嵐・加藤, 1970), 九頭竜川(五十嵐・加藤, 1966)などに分布する(図1B)。沿岸性の海魚で汽水域へ浸入する。

## H カレイ科 ( Pleuronectidae )

(9) ヌマガレイ *Platichthys stellatus* ( Pallas )

a 形態的特徴 両眼は体の左側にある。背鰭54~60軟条、臀鰭40~43軟条、背鰭、臀鰭、尾鰭に黒色縦条がある。体長 170 ~ 182 mm, 水月湖で獲れた2尾による(表1, 図2I)。

b 分 布 日本(利根川および福井県小浜以北), 朝鮮, 沿海州, オホーツク海, ペーリング海をへてアメリカの南カリフォルニアまで分布する(中村, 1975)。福井県では北潟湖(五十嵐, 1975), 水月湖(五十嵐・加藤, 1966)に分布する(図1B)。沿岸性の魚で、汽水域や純淡水域へも浸入する。

(10) イシガレイ *Kareius bicoloratus* ( Basilewsky )

a 形態的特徴 両眼は体の右側にある。成魚では有眼側にこぶ状の突起が2~3列不規則に並ぶ。

b 分 布 千島, 樺太, 北海道, 本州, 四国, 九州, 朝鮮, 華北などの沿岸に広く分布する(中村, 1975)。福井県では九頭竜川(五十嵐・加藤, 1966)に分布、汽水域によく浸入する(図1B)。

## I ニシン科 ( Clupeidae )

(11) サッパ *Harengula zunasi* ( Bleeker )

a 形態的特徴 体高が比較的高く、腹面の稜鱗は強い。下顎が突出し、鱗は他のイワシ類より密着性がある(表1)。

b 分 布 南日本および朝鮮南部の内湾に多いが、北は函館におよんでいる。福井県では水月湖(五十嵐・加藤, 1970)に分布する(図1B)。

## 引 用 文 献

五十嵐清・加藤文男. 1966. 福井県の淡水魚類. 「福井県の生物」, pp. 73~96, figs.

1~2, pls. 1~5. 福井県教育研究会理科部会。

五十嵐清・加藤文男. 1970. 若狭地方の魚類および両生類、ホ乳類について. 若狭、越前自然歩道学術調査報告書, pp. 79~106, figs. 1~13.

五十嵐清 . 1970 . 「郷土教材の研究」 , 北潟湖の魚類について . 福井県教育研究紀要 , (60) : 42 ~52 , fig.1 , pl. 1 .

中村守純 . 1975 . 原色淡水魚類検索図鑑 . 北隆館 , 東京 .

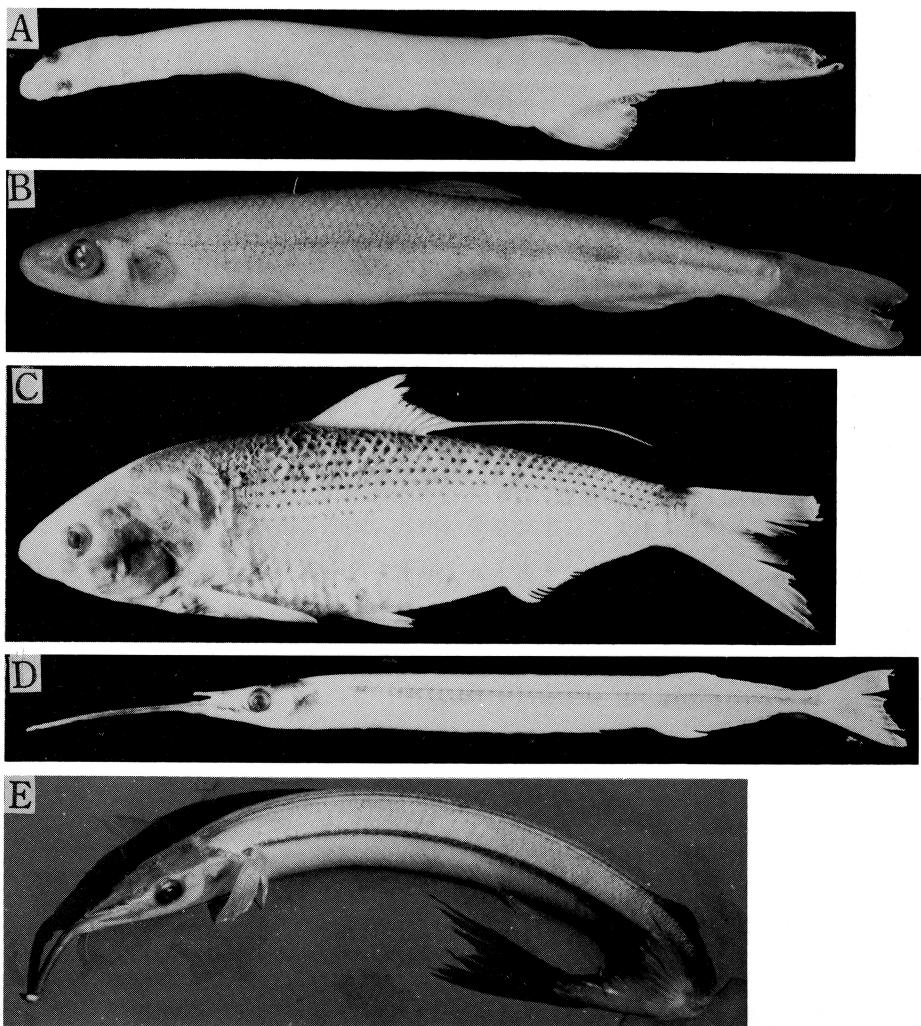
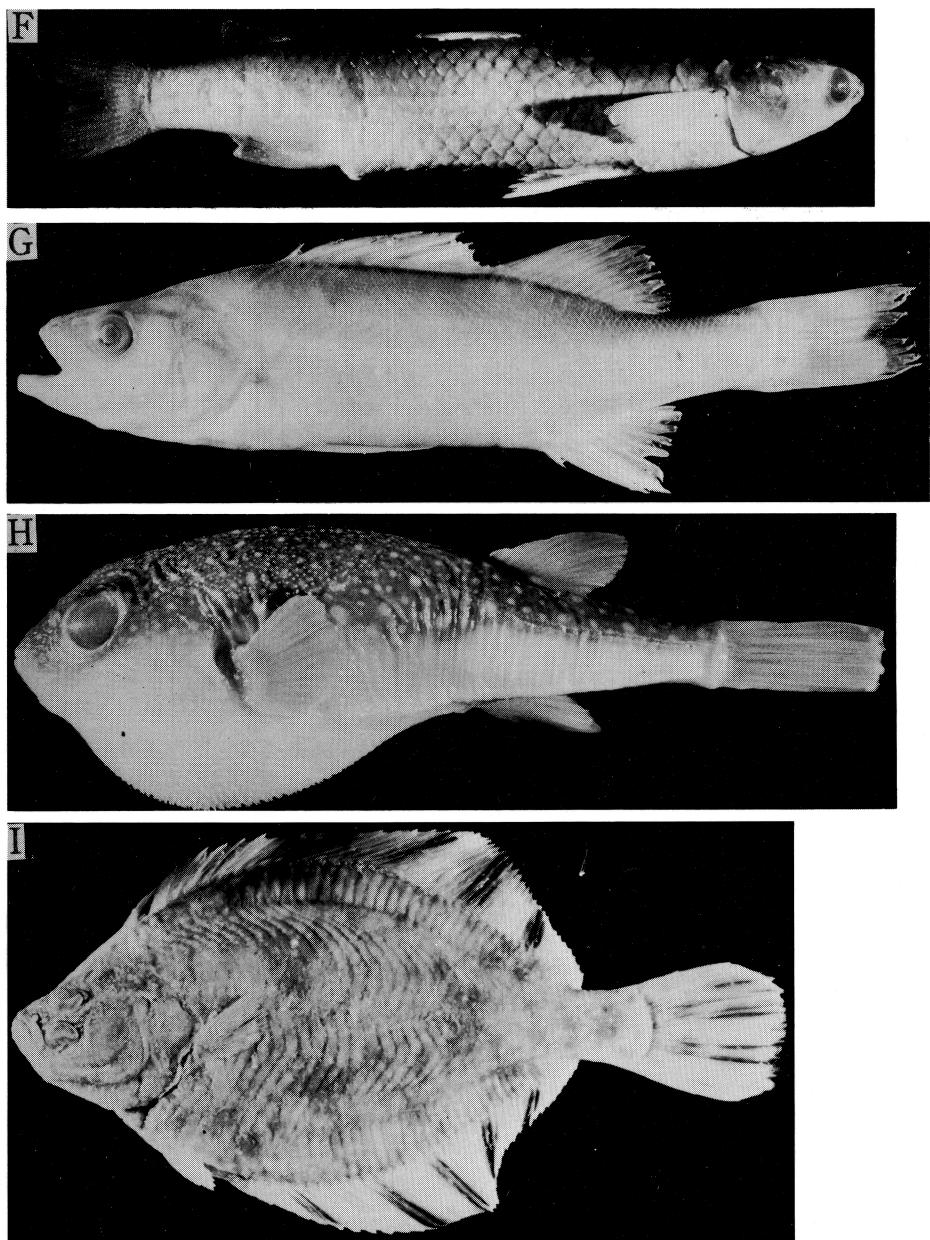


図2 福井県の淡水魚類9種

- A . シラウオ *Salangichthys microdon*  
標準体長80mm, 1965年3月25日, 三方湖
- B . ワカサギ *Hypomesus transpacificus nippponensis*  
標準体長86mm, 1965年4月28日, 三方湖
- C . コノシロ *Clupanodon punctatus*  
標準体長230mm, 1959年10月10日, 久々子湖
- D . クルメサヨリ *Hemiramphus kurumeus*  
標準体長115mm, 1965年11月4日, 三方湖
- E . サヨリ *Hemiramphus sajori* ( T . et . S . )  
標準体長240mm, 1965年7月20日, 久々子湖



F . ボラ *Mugil cephalus*  
標準体長 175mm, 1968年9月7日, 日野川(鯖江)

G . スズキ *Lateolabrax japonicus*  
標準体長 122mm, 1965年7月8日, 三方湖

H . クサフグ *Fugu niphobles*  
標準体長 80mm, 1965年7月20日, 久々子湖

I . ヌマガレイ *Platichthys stellatus*  
標準体長 170mm, 1966年1月9日, 水月湖